

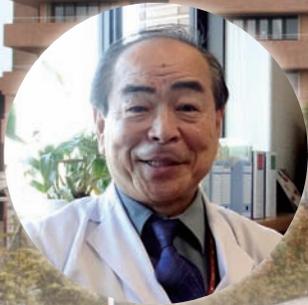


# 三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

テーマ

## のびやかな春／三重中央



### 新年のご挨拶

独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター  
院長 森本 保

新年を迎えまずは大きな災害のない穏やかな一年となることを祈っております。三重県においては伊勢志摩サミットを控え、多くの県民が成功裏に終わり三重県にとっても大きな成果が得られるよう期待を持っておられることと思います。国内外の要人と関係者をはじめ多くの方々が来訪されることでしょうが、私たち医療人が直接活躍せねばならないような事態も無く期待どおりに終えることを祈念します。

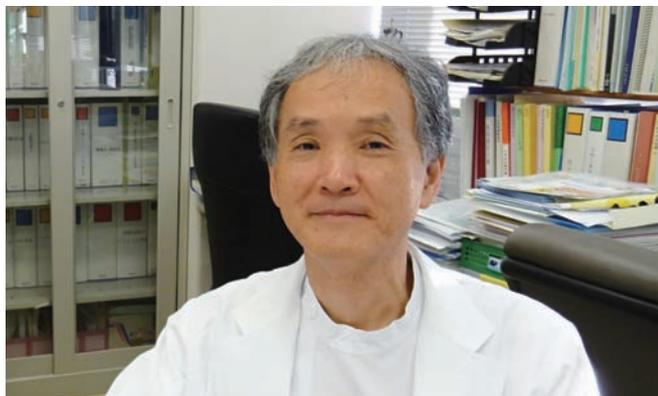
医療界においては「病院完結型から地域完結型の医療へ」とのキャッチフレーズのもと国の医療政策が示され、各県は地域の医療構想を構築することを求められています。三重県は地域事情も大きく異なることから8つの区域に区分され津市は単独で津区域と区分され、構想の策定に向け昨年秋から「地域医療構想調整会議」を中心に協議検討が始まりました。10年後の地域の医療・介護の需要を想定し、安心で安定した医療環境を維持確保できるような構想の策定が求められています。その実現のため急性期医療から在宅医療まで医療施設の機能分化と連携の推進、さらに医療と介護の連携が強く求められています。三重中央医療センターは総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けておりますが、今後も一部の高度急性期を含む急性期医療の診療機能を高め、地域の

病院、医院をはじめ多くの医療福祉施設等との緊密な連携が実践されるよう継続して取り組む所存です。また構想の実現のためには医療を利用するすべての国民の協力と意識の変化も求められており「いつでも、好きなところで」から「必要な時に必要な」医療を受けることが望ましいと提言されました。いつもお願いすることですが住民の皆様には是非それぞれの地域の中で身近に相談できる「かかりつけ医」の先生を持っていただくようお勧め致します。

一昨年より始まった「出前！市民公開講座」は医師をはじめ多くの医療専門職がそれぞれの専門領域の話題をご希望されるの方々のもとに出向いてお話しする健康講座です。多くの職員そして住民の皆様のご協力のおかげでますます好評を得て、多方面の方々からご希望を受けております。また昨年2年目となる「ミエチュウオウ文化祭」も一昨年にも増して沢山の地域の皆様にも参加していただき盛会に終わることが出来ました。今後も地域の皆様から高い評価と大きな信頼の得られる三重中央医療センターに発展させるよう職員心を一つにして病院運営に取り組みますので、引き続きご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様にとって良き一年となりますようお祈り申し上げます。

# 2016年 年男 年女



医療情報部長・小児科 田中 滋己 【昭和31年】



放射線科主任 松田 雄一朗 【昭和43年】

## 「十二支と十干の最小公倍数」

あけましておめでとうございます。院内の年男の一人として少し述べさせていただきます。私は今年、5度目の年男(申)で60歳、いわゆる還暦になります。よく知られているように還暦は十二支と十干の組み合わせである干支を順番に並べて行き最小公倍数の60年で最初の組み合わせに戻るといふ意味を持っています。ですから、これまでの暦がリセットされ新しい次の暦人生が始まる、おめでたい年齢であるわけです。しかし、暦が新しいスタートになったからといって肉体はリセットとはならないのが辛いところです。

少子高齢化の進む日本では年齢の高い人も働くことが重要になっているのに、僕らのような年齢の者にとって体の方はさっぱり言うことを聞いてくれません。子どもの頃は若い人の人口比率が高くメジャーなグループに入っているのが当たり前のように感じていましたが、60歳になろうとしている現在でも日本の人口のメジャーなグループのままというのも複雑な気分です。不本意ながら高齢化社会の主役になろうとしているわけなので。しかし、ネガティブ思考だけでは動けませんので、おかれた状況の中でこれまで通り最善を尽くしていくしか選択肢はありません。世の中は高齢化社会に敏感に対応してきています。国の打ち出す政策よりも敏感に。身近なところでは病院の医療圏に対する考え方があり、他のビジネスでも高齢者を念頭にしているベンチャーや業務転換などいたるところで高齢化への対応がみられています。決められた時間をどう活かすかは個々の条件により差が出てきますが、年を重ねることほど誰にとっても平等なことは無いと思います。ここはひとつ、時間の流れには抗わず高齢化社会の主役となりつつあることを意識しながらマイペースを続けます。

新年を迎え改まった気持ちになる時期です。個人的には還暦を迎えて肉体をリセットできないなら、せめてメンタルだけでもリセットして新しい気持ちで仕事をして行きたいと思う次第です。

## 「進歩し続ける画像診断とともに」

平成28年の新春を迎え、謹んでお祝い申し上げます。皆様方には新しい年を新たな決意でお迎えのことと存じます。

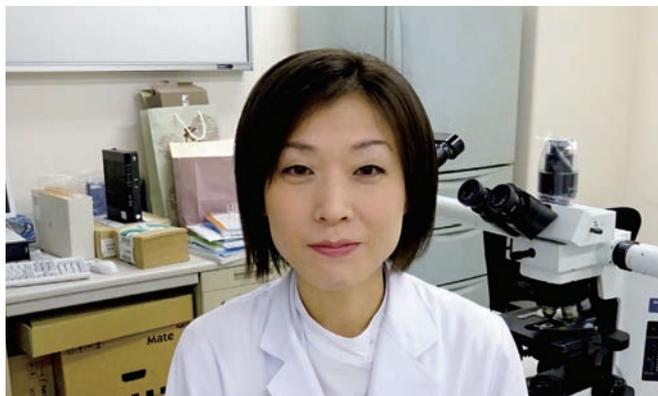
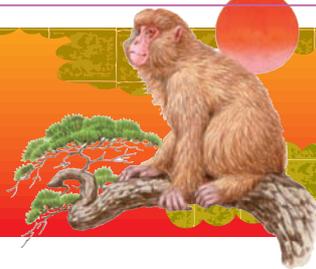
私は、今年48歳申年で年男となりますので、この三重中央だよりに紹介していただくことになりました。

現在私は放射線科中央放射線室に診療放射線技師として勤務しています。

診療放射線技師として働きはじめて25年になりますが、この間私たちの職場環境は大きく変化しました。まず、この仕事には切っても切れないと思っていたフィルムが無くなり一般撮影、CTなどすべての検査、診断を画像モニターで行うようになりました。また、検査に使用する画像診断機器も25年前を思うと、驚くほど進歩しています。CTで考えると、当時1回の息止め時間が9秒、これを何十回繰り返して腹部の検査を一通り終えるのに10分から15分かかっていたものが、1回数秒の息止めだけで検査を終える事が出来るようになりました。また体の輪切り写真を作り横断面だけを見ていたものが、3次元の画像(立体的に)を作って見ることができるようになり、最新の装置ではこれに時間が加わり4次元(例えば血流まで)で見えるようになりました。

当院も今年の1月からこの最新のCT装置が稼働します。東芝社製の320列CTで最大の特徴は1回転0.275秒で16cmの画像を撮影出来ることです。患者様には以前に比べ短時間に検査を受けていただくことができ、より詳しい検査結果を提供できると思います。

このように日々進歩していく画像診断に携わる事ができるのは喜びであると共に大きな責任も感じます。次の年男の時は還暦ですがまだまだ続くであろう診断技術の進歩に頑張っつて行きたいと思っています。



臨床検査技師 **小嶋 洋子** 【昭和55年】

### 「顕微鏡ともっと仲良く」

明けましておめでとうございます。

今年は申年、年女ということでこのような機会をいただきましたので、年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

私は、臨床検査技師になって以来ずっと病理検査に携わっています。学生時代の病院実習では「病理検査はなんか合わない」と強く思った事を覚えています。そんな私が病理にどっぷり浸かっている事がとても不思議に思います。就職した当初は、飛び交っている専門的な言葉や英語が全く理解できず、毎日が必死だったと記憶しています。

苦手意識のあった病理検査も、慣れとともにその魅力も分かるようになり、今となってはやり甲斐を感じられるようになりました。

細胞検査士になり10年目。病院2階の片隅で、毎日顕微鏡を使って細胞を観察するのが私の役目の一つです。我々の報告書が、患者さんのその後を大きく左右する事が、だからこそ、意義ある報告ができるようにと心がけていますが、自信が持てずに悩む事も多々あります。もっと顕微鏡と仲良くなり、細胞の持つ情報をなるべく多く読み取れるよう、自分なりに精一杯取り組み続けたいと思っています。

「やらずに後悔するより、やって反省する！」がここ数年の私のモットーです。小さな事でもやっておけば良かったと後悔する事のないように、想いを行動に移していけたらと思います。そしてしっかり反省します！

2016年が皆様にとって素敵な一年になりますように。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



東7 **吉川 祐未** 【平成4年】

### 「笑顔あふれる1年を」

みなさん、明けましておめでとうございます。

寒さ厳しき折いかがお過ごしでしょうか。

今年は申(さる)年であり、年女ということで三重中央だよりに紹介して頂くこととなりましたので、一言、ご挨拶申し上げます。

私は、平成26年4月に看護師として採用して頂き、3年目を迎えるようとしています。

各1年、新しく吸収することが多い年であったため、あっという間に時間が過ぎていました。現在も、日々先輩方にご指導を頂き、ひとりひとりの患者様との時間を大切に、毎日奮闘しながらも非常に充実した日々を過ごしております。

私の勤務する東7病棟は呼吸器内科・外科であり、がん患者様が多くみえます。学生の頃から、がん看護を希望しており、患者様の個別な思いに寄り添い、苦しみや喜びを共に感じる事ができる看護を行うことが私の目標です。以前、臨終期に担当させて頂いた患者様の御家族から「最期の時間を吉川さんに看てもらえて良かった。最期まで優しくしてくれてありがとう」と声を掛けて頂いたことがあります。その言葉を頂いた時に「この職業を選んで本当に良かった」と看護師のやりがいを感じたと同時に、自分にしか出来ない看護を提供していきたい、と痛切に思いました。そのために、患者様やご家族に信頼される看護師になれるよう日々努力し、また患者様と真摯に向き合い接し笑顔を絶やさないと、今年の私の抱負です。

まだ分からないことばかりの未熟な私ですが、これからも様々な場面で多くのことを吸収し、三重中央医療センターの一員として、励んでいきたいと思っています。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

# 風景写真展

医療ソーシャルワーカー 津川 忠久



新春の幸



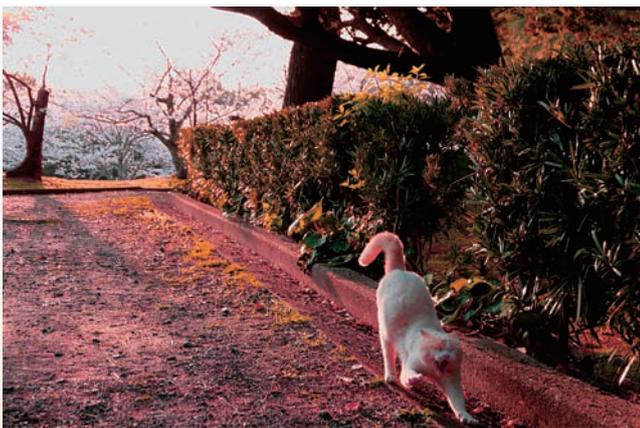
白 sara



寒 暖



高田本山の新春色



えっと～あれっ？御呼びでニャーい？（萩城にて）



くすくす（大内山動物園にて）

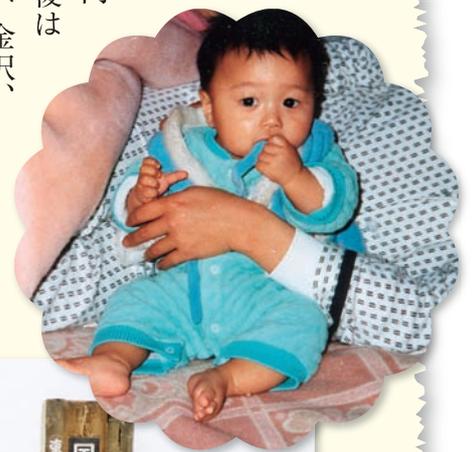
# 我が心の故郷

## 津・白山



薬剤師  
山本 高範

三重中央医療センターに赴任し、九ヶ月となりました。私は津市白山町(旧一志郡白山町)に生まれ、大学進学までを三重県で過ごしました。大学は石川県内の大学に進学し、大学卒業後は国立病院機構に就職となり、金沢、能登と石川県内を転勤してきました。時がたつのは早く十一年間も故郷と離れ過ぎてきましたが、二〇一五年四月に故郷である三重県に転勤となりました。転勤当初は十一年間ですっかり変わった津市の雰囲気、故郷に帰ってきたというよりは新天地に転勤になったという感覚でした(白山町はあまり変わっていませんが)。しかし、病棟や外来で地元の職員や患者様と会話し、懐かしい言葉遣いや、人の雰囲気、故郷に帰ってきたことを実感するようになりました。今ではすっかり慣れて昔の思い出の場所を訪ねたり、新しい施設やお店に出かけたりしつつ、故郷での生活を楽しんでいます。まだまだ、未熟者ではありますがありますが、石川県での十一年間で得た知識と経験を生かし、当院での治療に貢献できるよう励んでいきたいと思っています。



## 赴任された先生



小児・新生児科  
伊藤 卓洋

はじめまして。11月から新生児科で勤務しています。愛知県犬山市生まれですが、秋田へ進学後は11年間むこうで生活し、縁あって今年4月に三重県へ来ました。秋田は豊かな自然に恵まれた土地でした。夏は素潜りで獲った海の幸を楽しみ、山に分け入って収穫したわらびも格別でした。また、街中でカモシカに遭遇したり、当直中にクマに襲われた人が運ばれてきたことも。最後にいた横手市は東北でも有数の豪雪地帯で、朝はまず大変な除雪作業が待っていました（小1時間ほど病院にいた後に車に戻ろうとすると、雪に埋もれて見失うこともありました）。三重県は

豊かな自然と適度な都会さがありこれからとても楽しみです。院内外で未だに沢山カルチャーショックを受けていますが、吸収できるものはなんでも取り込もうと楽しんでいきます。微力ですが三重県の新生児医療の役に立てるよう頑張りますので宜しくお願いします。院内で見かけたら気軽にお声がけ下さい。



## 「里山こころの便り」- 榊原の窓から

### 第1話 連載に当たって

今年から連載コーナーをいただきました。自己紹介ですが平成26年7月より同じ国立病院機構琉球病院より異動をしてきました。それまで季節変化が少ない沖縄に8年間いましたので、季節の移り変わりが新鮮に感じます。ご存知のように榊原は温泉で有名なところ。山や田畑の緑の風景に溶け込んだ自然に溢れた地域に温泉があります。病院の裏山には鹿や猪、それに猿が出て、小川には蛍が飛び交います。「やまとは国のまほろば、たたなずく青垣、山隠れる、やまとはうるわし」とヤマトタケルが詠んだのは鈴鹿の地だったでしょうか。この地に来て人の手の入った自然が里山を作り、日本の原風景に出会ったような懐かしさを感じます。「こころの便り」をお伝えするには最適のロケーションです。

出身は大阪ですが大学は九州に進み、そのまま棲み家にしてきました。精神科医となったのは昭和49年です。佐賀にある肥前精神医療センターを拠点として、石垣島にある八重山病院、岩手の花巻病院など様々な病院で精神科医療を垣間見てきました。アルコール・薬物依存など嗜癪医療や司法精神医学が専門ですが、40年の間には老人から子どもの医療、うつ病から統合失調症、総合病院での相談など幅広く臨床を重ねてきました。その体験から、こころの病の理解や治療など、この榊原の窓から見える風景をお伝えします。ご期待ください。



村上 優

榊原病院  
院長

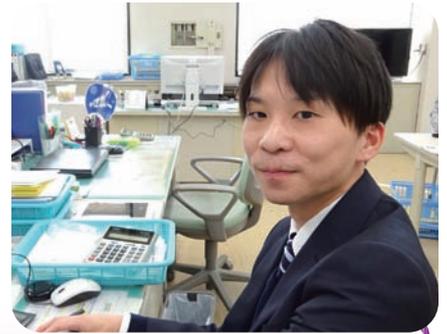
優



# 輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外にも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

経営企画課契約係 瓦谷 大祐



新年あけましておめでとうございます。はじめまして、私は、昨年4月1日から医療事務官として働きはじめたばかりの社会人1年目です。医療事務は、医師や看護師とは異なり診療行為を行うことはできません。しかしながら、医療事務も医療関係者の一員であり、医療事務というサポートがあってこそ、病院や診療所で診療が円滑に行われるといっても過言ではありません。

医療に貢献している病院や診療所を縁の下の力持ち的に支える医療事務は、社会的に意義のある仕事としてやりがいのある仕事です。

当院は「出前！市民公開講座」

をはじめ、「ミエチュウオウ文化祭」などの地域の皆様と医療職が緊密に接する事のできるイベントを多数開催している地域密着型の病院です。

私は、まだまだ未熟者でみなさまにはご迷惑をおかけすることがあると思いますが、三重中央医療センターの発展に少しでも貢献できるように日々精進していきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

シリーズ  
医療用語の  
基礎知識  
13

病院職員が何気なく使用している用語で、普通にはあまり馴染みがない医療用語を分かりやすく解説します。

## 「電カルのサーバーがダウンしたので伝票運用になります」

みなさま初めまして！10月1日に長良医療センター（岐阜県）より当院へ赴任しました。前任の伊藤に引き続きこのコーナーを頑張らせていただきますので、ご愛読いただければ幸いです。

院内では色々とコンピュータ化が進み、診療録（カルテ）への記載、検査や撮影の依頼（オーダー）、予約管理や受付業務など、多くの業務が「電子カルテシステム（略して「電カル」と呼んでいます。）」を使用して行われています。

電カル導入により、各部署にある電カル用コンピュータから、診療情報を一元管理しているコンピュータ（サーバー機器）へ、診療内容の照会、記録の書き込み、各種オーダーが行えるようになりました。これにより「カルテが届くのを待たなくてもいい」「電カル用端末があれば、どの部屋でもカルテが参照でき、スタッフに指示ができる。」等の場所を気にせず情報を参照することが可能となり、「汚した」「破れた」「達筆過ぎて読めない」等の悩みも無くなりました。

しかし、サーバー機器に何らかの異常が生じて機能停止（ダウン）してしまうと、「カルテが見えない！」「オーダーができない！」と、機能停止の範囲によっては大変な騒ぎになり、皆様に大変なご迷惑をおかけすることになります。

そういったことが起きないように、サーバー機器の2重化（メイン機が故障したらサブ機に自動的に切り替わる仕組み）、保守要員の日常点検や保守業者による遠隔監視の実施、万一、異常が発生した場合には迅速に対応するために、対応マニュアルを整備する等、様々な対策をして備えています。

ということで、今回のお題を翻訳すると、

「診療情報を一元管理しているコンピュータが停止したので、カルテは見えないし予約や検査は紙伝票に書いて依頼するしかないです。」となります。

また次号でお会いしましょう！

事務部企画課 専門職 正田 長彦（まさだ ひさひこ）



No.13

# 『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催いたしました



地域医療連携係長  
山本 弥生

一昨年の夏、病院の敷居を低くし、地域住民のみなさんと医療者との触れ合いの機会を作ることで、「気軽に訪れることのできる病院」、「顔が見える医療」を拡充させてゆきたい！そんな思いから『病気を知り 予防し 生活するための ミエチュウオウ文化祭』を開催することになりました。そして、天候に恵まれた昨年11月3日（火・祝）、第2回ミエチュウオウ文化祭を開催いたしました。

市民公開講座を軸として、各種催し物と融合させた当院の文化祭は、800人を超える方にご来場いただき大盛況となりました。

地域医療研修センターでは、市民公開講座「腰痛って治るの?」「脳梗塞 -予防から治療まで-」「タバコの害と最新の「禁煙」の治療」の3演題を行い、会場に入りきれないほどの聴講者にお越しいただきました。

1Fエントランスホールではメインステージを設営し、当院のスタッフも日々活動しているよさこい3チームのダイナミックパフォーマンスを始め、津市白山町のご出身である澤岳司氏によるフラワーインスタレーションand東海地区を中心にライブ活動されている百本マイ氏によるライブパフォーマンスが行われ、何もなかったステージが瞬く間にみごとに「華」で飾られました。また、「華」で埋め尽くされたステージでは、津少年少女合唱団および本場イタリア仕込みのオペラ歌手 日比野有子氏による歌唱が披露され、迫力ある歌声で盛り上がりました。



ステージを取り囲むように、久居げんき会の皆さんによる、地産の野菜やお米・加工品・雑貨・アート作品の数々・各種飲食も充実し、あわせて計36店舗が軒を連ね、まさに津市久居地区の文化がここに集結しお祭りムードをぐっと盛り上げてくれました。

また、健康と食文化の融合という観点から、当院の管理栄養士によるカロリーオフで減塩メニュー「健康食堂 手こね寿司」が振る舞われました。限られた数であったため、7分で品切れという盛況でした。

2Fでは、当院ACLSチームによる1次救命処置の実技指導もあり、たくさんの方が実践されていました。お子様向け企画や三重県出身の方々の雑貨・ワークショップなど盛りだくさんで、元気なお子様の歓声が最後まで響いていました。

病院でお祭り！？と驚かれた方もいらっしゃったでしょうが、たくさんの方々に賛同していただけたことに感謝いたします。

さらに、来場いただいた皆さんにお喜びいただけたことに加え、当院の多職種にわたるボランティアスタッフ同士でコミュニケーションがとれたこともまた、大きな成果だったと思っています。

当、三重中央医療センターは地域医療支援病院です。これからも、地域の方々の交流の場になってゆくことを目指してまいります。



お待たせ  
いたしました。

# 出前！市民公開講座 第3版

出前！市民公開講座メニュー第3版が完成いたしました。  
ご好評いただいているメニューの継続はもちろんながら、多職種による新メニューが続々と登場しております。是非、**出前！**をご注文ください。  
皆様とお会いできることを楽しみにしております。



## 「クローバー友の会」 会員募集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

独立行政機構  
三重中央医療センター  
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5  
TEL 059-259-1211 内  
地域医療連携室

独立行政機構  
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。  
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。  
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わることがあります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員住所  
住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_  
電話 \_\_\_\_\_

## クローバー友の会 会員特典

素敵な  
『健康マグカップ』を  
プレゼント



(10スタンプにつき1個プレゼント)

編 集  
後 記

新年あけましておめでとうございます。皆様と共に新たな年へ期待したいと思います。お正月特集で、新年の抱負や今月からの新連載を掲載しました。美しい写真を見ながら、輝く未来を築くと決意を新たにしました。

(霜)

発行所

三重中央医療センター  
院長 森本 保

三重県津市久居明神町2158番地5  
TEL. 059-259-1211  
<http://www.hosp.go.jp/nmch>

# ●●● 三重中央医療センター—連携医療機関紹介 ●●●●●

## おくのクリニック



三重中央医療センターと同じ久居地区に、平成11年5月に開業し、16年余り泌尿器科を主として診療をさせて頂いております。

今も開業当初とほぼ同じスタッフで患者さんを迎えられることが、当院の誇れるところだと思っております。泌尿器科という特性から、在宅患者さんの尿路管理を頼まれることが多く、午前と午後の診療の合間は、ほぼ訪問診療にあたっております。

大学病院を辞めて開業医になる時、一つだけ心に

決めたことがあります。それは、慣れ親しんだ我が家で、最期を迎えたいという患者さんの願いを叶えるということです。

大した信念ではありませんが、依頼を出来る限り断らないという事を積み重ねていくうちに、これまで200人以上の患者さんを看取らせて頂くことが出来ました。

これからも私の体力が続く限り、そしてスタッフさん達が、支えてくれる限り、終末期医療に携わりたいと思っております。

院長：奥野 利幸  
 診療科目：泌尿器科、内科、皮膚科  
 住所：〒514-1125 津市久居元町1709-3  
 電話：059-255-7766  
 休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:30～19:00	○	○	○	△	○	△	△

土曜午後 14:00～17:00

## 特定医療法人同心会 遠山病院

ホームページアドレス：<http://www.toyama-hp.jp/>



当院は、内科と外科及び透析医療を行っています。

内科はプライマリケアから一般総合内科医として広く種々の患者さんに対応できるよう努力しています。

専門的には循環器、消化器疾患、糖尿病、内分泌疾患（甲状腺）、血液疾患、腫瘍・化学療法、呼吸器疾患、腎疾患・透析療法を行っています。

外科は消化器外科・乳腺外科を専門とし、消化管の内視鏡検査は7,400例（胃カメラ4,100例、大腸カメラ3,300例）行い、内視鏡治療や胃・大腸疾患・胆のうを中心に消化管の手術を行っています。

また、疾患の予防、早期発見のため人間ドック（日帰り、1泊）を行っています。

そして、現在工事中の新病棟が2016年4月よりオープン予定です。

院長：竹内 敏明  
 理事長：加藤 俊夫  
 住所：〒514-0043 津市南新町17-22  
 電話：059-227-6171(代) FAX：059-225-3967  
 診療科目：内科・外科・呼吸器科・消化器科・循環器科・肛門科・放射線科  
 診療時間：月～金、第2・4土曜日 9:00～12:00  
 休診日：第1・3・5土曜日、日曜日、祝日

## 医療法人 高岡医院

ホームページ <http://hi-med.jp/medical.php?num=27> (久居一志地区医師会ホームページ内)



近鉄大阪線川合高岡駅から徒歩で数分の道から少し奥まったところに高岡医院はあります。昭和30年代に前院長の長崎靖が高岡病院として開院しました。その後、無床診療所となり現在は長崎裕が院長に就いています。長崎靖は月・水・金曜の午前中のみ、長崎裕は全ての診療日に診療を行っています。診療科目は内科で、主に一志地域に居住されている方が多く通院されています。

日常から患者さんの訴えを出来るだけ丁寧に聞いて診療に当たるように心掛けています。また、内科以外の疾患に関してもかかりつけ医として、他の医療機関への紹介などのアドバイスが出来るようにしたいと思っています。

診療情報提供書を元に平成19年から平成27年12月現在まで約10年間における当院から三重中央医療センターへのおおよその紹介数を調べてみました。全ての科への総紹介数

は約1250症例でこれは当院から他院への紹介数の1/3に当たり、施設別ではいちばん多くの患者さんを三重中央医療センターに紹介させていただいております。その内訳は消化器内科320、放射線科280、呼吸器内科140、外科120、循環器科100、神経内科80、整形外科50、内科（内分泌）35、泌尿器科30、脳神経外科30、耳鼻咽喉科25、小児科13、その他となっています。当院では消化管内視鏡検査を行っていないため、消化器内科への紹介数が最多となっていると思われます。

今までと同様に、これからも三重中央医療センターの先生方、コメディカルの方とは密に連携し、早期診断・早期治療ができる環境を作り、地域の医療を充実させて行きたいと願っています。

院 長：長崎 裕
診療科目：内科
住 所：〒515-2516 津市一志町野尻603
電 話：059-293-2255 FAX：059-293-2256
休 診 日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	△
14：00～18：00	○	○	○	△	○	△	△

## ひぐち整形外科クリニック



三重中央医療センター退職後、久居射場町で開業し早や6年が経ちました。

当院では、患者様ひとりひとりが不安なく疾患と向き合えるよう、正確な診断、適正な治療、丁寧で解りやすい説明を心掛けています。また、スタッフ一同常に温かみと思いやりの気持ちを持って、患者様から元気を引き出そうと頑張っています。

専門分野は外傷（骨折、捻挫、打撲、創処置、交通事故による怪我）、脊椎疾患（首、背中、腰の痛み、手足のしびれ、歩行障害）、関節疾患（膝、肩、肘、手首などの痛み）、関

節リウマチ、骨粗鬆症、スポーツ障害、リハビリテーション、一般内科（風邪、高血圧、糖尿病など）です。一日でも早く症状改善、機能回復して頂けるよう毎日余念がありません。

クリニックのメリットである身近さ手軽さを残しつつ、精密検査、手術が必要と考えられる症例については三重中央医療センターと連携して積極的に紹介させて頂いております。

地元の皆様に少しでもお役に立てるよう、今後も質の高い医療を提供していきたいと考えております。どうぞお気軽にご来院ください。

院 長：樋口 裕晃
診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、内科
住 所：〒514-1108 津市久居射場町33-3
電 話：059-256-6100 FAX：059-255-3400
休 診 日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9：00～12：00	○	○	○	○	○	△	△
14：30～18：30	○	○	○	△	○	△	△

月・水・金は内科診療も行います △土曜 9：00～14：00



# 外来診療担当表

平成28年1月1日現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	北村 政美【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
	2診	竹内 圭介【消】	中久木 哲也【循】	岡野 智仁【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
	3診	新谷 卓也【循】	子日 克宣【消】	倉田 一成【消】	渡邊 典子【消】	亀井 昭【消】	
	4診	中谷 仁【循】	奥田 昌也【糖】	田口 由紀子【消】		内藤 雅大【呼】	
	10診		吉川 恭子【消】				
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診			井端 英憲(午後再診)		
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	新谷 卓也	中久木 哲也(午前再診)	
	呼吸器内科	6診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	
	(整形1診)			藤本 源			
	消化器内科	7診	子日 克宣	亀井 昭	渡邊 典子	倉田 一成	竹内 圭介
	内科	8診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	中谷 仁【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】
		10診			内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】
ペースメーカー チェック		ペースメーカーチェック (毎月第1月曜日午後)			ペースメーカーチェック (毎月第1木曜日午前)		
神経内科	1診	北川 長生	賀川 賢(再診予約のみ)	北川 長生	賀川 賢	北川 長生	
	2診	吉丸 公子	北川 長生(再診予約のみ)	賀川 賢	北川 長生	吉丸 公子	
小児科 (NICUフォロー発達 外来は予約のみ)	午前	1診	井戸 正流		井戸 正流	田中 滋己	
		2診	*NICUフォロー	*NICUフォロー	発達外来	*NICUフォロー	
		3診		田中 滋己	山本 初実(予約)	井戸 正流	
		4診	発達外来	発達外来	NICUフォロー	発達外来	
	午後	1診	田中 滋己(予約)	乳児健診			予防接種
		2診	NICUフォロー	2週間・1ヶ月健診	発達外来	NICUフォロー	
		3診	NICUフォロー	NICUフォロー	山本 初実(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)
		4診	発達外来(学童)	NICUフォロー	NICUフォロー	NICUフォロー	発達外来(学童)
外科	1診	湯淺 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
	2診	横井 一		武内 泰司郎		湯淺 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)							
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		田中 雅		浅沼 由美子	
	2診	長倉 剛		横山 弘和		長倉 剛	
	3診	新谷 健		新谷 健		横山 弘和	
脳神経外科	1診	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	種村 浩	石田 藤麿	
	2診		種村 浩(初診)		芝 真人	霜坂 辰一(再診予約のみ)	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)			*水野 正喜 *診療時間は10:00~14:00までとなります。				
呼吸器外科			安達 勝利		樽川 智人		
心臓血管外科			森本 保		佐藤 友昭		
皮膚科(休診)			休診				
泌尿器科	1診		加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
	2診		岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	
産科・婦人科	午前	1診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	澤木 泰仁
		2診(婦人科再診)	前田 眞	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	日下 秀人
		3診(産科再診)	中尾 真大	波多野 英美	前川 有香	中尾 真大	波多野 英美
		4診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)				
	午後	1診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	吉村 公一	澤木 泰仁
		2診(婦人科再診)	澤木 泰仁	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	日下 秀人
3診	助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来		
眼科		三重大学医師		三重大学医師			
耳鼻咽喉科	午前(初診)			伊藤 由紀子	伊藤 由紀子		
	午前(再診予約のみ)			伊藤 由紀子		伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)		奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科		浅沼 由美子	田中 雅	浅沼 由美子	長倉 剛	田中 雅	
歯科・歯科口腔外科		柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	
看護外来(予約のみ)		看護外来 (第1月曜日 透析予防外来)	看護外来 (第3火曜日 透析予防外来)	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	

\*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。 \*医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。  
 \*当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	乳児健診	予防接種	NICUフォロー
月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・金 午前診療	月・金曜日	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	月・火・水・木曜日 午前診療
循環器内科(新谷)	消化器内科(竹内)	呼吸器内科	呼吸器内科	神経内科(吉丸)	小児科		小児科(益野)
未破裂脳動脈瘤 の相談	脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・嚔胸	中耳外来 (予約)	ブレママ外来	おっぱい外来 (予約)	発達外来	緩和ケア外来
金曜日 午前診療 要予約(自費)	火曜日(10時~14時) (要予約・紹介)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	月・水・木曜日 診療	金曜日 午後診療(要予約)
脳神経外科(石田)	脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		小児科(山川)	外科(谷川)